

| | |
|--------------|---|
| Title | 臨床哲学 第19号 目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 臨床哲学. 2018, 19 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/68160 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

『臨床哲学』第19号 目次

〈論文〉

わたしの考える「臨床哲学」と「当事者研究」
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・永浜 明子 3

社会学的インタビュー調査に「文学的読み手」を導入する可能性について
——薬害エイズ聞き取り調査に基づく試論
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・横田 恵子・大北 全俊 27

科学的規範と技能
——理学療法哲学試論
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・堀 寛史 45

Formation of Sensibility in Mother-Child Relation: Temporal Dephazing
and Traumatic Displacement
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Irina Poleshchuk 64

On Dis/Ability in Husserl's Phenomenology
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・浜渦 辰二 79

〈研究ノート〉

語る主体になる
——語り合いの活動と対話の経験を書くことについて
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ほんま なほ 95

看護師にとって老衰死とはどのようなものか
——「祝い熨斗の菓子箱」看護師 B さんの語りから
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・前原 なおみ 111

〈活動報告〉

シモーヌ・ヴェイユにおける「社会的なるもの」と「隣人愛」をモチーフに女性の「声」について考える

・・栗田 隆子 128

生のシュプール : Malspiel, Malort und die Formulation

——Arno Stern (アルノ・シュテルン) の活動紹介

・・服部 佐和子 146

ひとりの人が自宅で暮らす中で“食べられなくなっていくこと”について考える

・・三ツ田 枝利香 156

〈翻訳〉

間身体的表現と認知症の主観性

・・・リサ・フォークマーソン・シエル (浜渦 辰二・青木 健太 訳) 173

編集後記

執筆者一覧